

ボランティアネット通信

2025 年 9 月
能登半島地震版 3

NPO 法人

ボランティアネット

茨城県古河市水海三〇一九

Tel 0280-23-1441

090-3097-4640

Fax 0280-23-1446

此度の『能登半島地震』

ならびに台風をはじめとする様々な自然災害で被災されたすべての皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

令和6年1月1日に発生した『能登半島地震』より、一年半が経過しました。

私たちは支援活動が続けてまいりましたが、度重なる風水害に被災地の復興は遅れ、被害も甚大なものになっております。

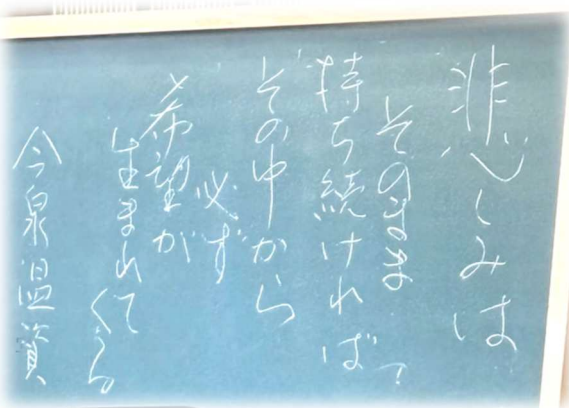
それでも主な幹線道路の復旧は目覚ましく、令和7年4月時点では、主要幹線道路の8割が通行可能な状態となりました。

物資の輸送も、人々の移動も順調なものになりつつあります。

交通網の復旧の後に必要となるのは、生活の復旧と、心身の復旧です。
そこで生活する人々が「もうだめだ、おしまいだ」と絶望してしまうことを防ぎ、「さあ、これからしっかり生きていこう」と、第一歩を踏み出そうとする、その手助けをすることこそが、私たちが行っている活動だと信じています。



これからも、一杯のラーメンを通じて、復旧・復興の手助けを続けてまいります。



支援活動の軌跡

～奥能登各地での活動報告～

回数	月日	支援活動の場所
15	9月10日	道下(みちした)第一集会所(門前町)
16	9月11日	道下(みちした)第二集会所(門前町)
17	11月6日	浦上(うらかみ)公民館(門前町)
18	11月7日	旧本郷小学校仮設住宅(門前町)
19	12月11日	道下(みちした)第一集会所(門前町)
20	12月12日	旧本郷小学校仮設住宅(門前町)
21	3月25日	道下(みちした)第二集会所(門前町)
22	3月26日	正院(しょういん)公民館(珠洲市)
23	4月22日	旧本郷小学校仮設住宅(門前町)
24	4月23日	皆月(みなづき)多目的集会所(門前町)
25	4月23日	浦上(うらかみ)公民館(門前町)
26	5月27日	道下(みちした)第二集会所(門前町)
27	5月28日	浦上(うらかみ)公民館(門前町)
28	6月18日	正院(しょういん)公民館(珠洲市)
29	6月19日	道下(みちした)第一集会所(門前町)



2024年9月上旬の輪島市の様子。大量の雨水による洪水で生活圏は覆われ、道路も冠水し寸断されている。特に北西の海岸線付近は、復旧が遅れていたこともあり、相当な被害となった。

私たちの活動は9月に入っても変わりません。温かい食事を、キッチンカーで被災地の人々に届けることです。

しかし令和6年台風10号の被害は、奥能登一帯の地震被害を、一層深刻なものとしてしまいました。

私たちは、泥土にまみれ濁流の残滓が散見される町の中を進みました。

活動地図



9月10日 輪島市門前町

道下第一集会所

9月11日 輪島市門前町

道下第二集会所

水害の後には、汚水による伝染病や破傷風への警戒が必要です。水害直後には、街のあちこちに、消毒用の石灰が撒かれていました。



しかし9月にもなると、その被害も一段落したように見受けられました。

ただそれは「深刻な被害」が「少し緩和」されただけにすぎません。依然として、奥能登のインフラはギリギリの状態です。

11月6日 輪島市門前町

浦上公民館

11月7日 輪島市門前町

旧本郷小学校仮設

11月に入ると、町は一気に冷え込んできます。温かいラーメンや鍋物を囲んで語らうには、良い季節です。



そしてそれは、活動を手伝ってくださる方々同士も同じです。「ともに語らう場所づくり」が、私たちの活動の基本であったことを思い出させてくれるひと時です。

12月11日 輪島市門前町

道下第一集会所

12月12日 輪島市門前町

旧本郷小学校仮設

奥能登の冬は、多量の降雪や速い日没など、活動を大きく制限される時期です。

しかし復旧活動がつづいたおかげで、各地の道路状況は改善の一途をたどっており、私たちは夕食の炊き出しを行うことができました。

3月25日 輪島市門前町

道下第二集会所

3月26日 珠洲市

正院公民館

残念ながら1、2月の活動は、降雪もあり、中止せざるを得ません。次の活動は、3月に入って、雪が溶けてからとなりました。

そして震災から一年が経過した被災地では、様々な変化が見られ、それは仮設住宅内の生活にも大きな影響を与えてきました。

この日、仮設住宅では大きなイベントが開かれており、様々なゲームを楽しむ人々であふれていました。

屋外の桜も花をつけ始めており、そこには確かに希望が見えていました。



4月23日 輪島市門前町
浦上公民館

4月23日 輪島市門前町
皆月多目的集会所

4月22日 輪島市門前町
旧本郷小学校仮設

4月にもなると、屋外で食べる機会が増えます。多少の雨が降っても、皆さんの笑顔に曇りはありません。



門前町に「コミセン門前B ASE」が開場しました。お風呂やテレビ、食堂などを利用して交流をはかれるコミュニティセンターとして、能登の各地に作られています。

27日の活動は、集会所ではなく、この「コミセン門前」で行われました。



5月28日 輪島市門前町
浦上公民館

5月27日 輪島市門前町
道下第二集会所

6月19日 輪島市門前町
道下第一集会所

6月18日 珠洲市
正院公民館

震災後一年が経過し、食事も生活用品も過不足なく確保できるようになりましたが、だからこそこういう場所が必要となってきたのではないでしょうか。



「コミセン門前」には、食堂・厨房もあり、支援活動と共同で配食が可能です。屋外で、屋内で、カウンターで、4人席で、参加された皆さんが楽しそうに語り合っています。
被災地に住む人々に元気を生み出す。
活動は、その段階に変わりとつあります。これからも継続した活動を続けて参ります。

能登半島には浄土真宗の寺院が多数あり、いずれも被害を受けております。ひどい被害により、解体を余儀なくされた寺院も多数見受けられます。

そこで、解体された寺院の一部を再利用し、お念珠などを作る活動がよく見られます。

今回、当会で作成された「能登復興記念念珠」は、罹災し解体された珠洲市の真宗寺院、長覺寺（ちやうがくじ）様（住職・濤恵周（おおなみ えしゅう）師）の木材を利用して作られました。

この念珠が、能登の復興に寄与することを願います。



よみがえれ、能登の寺院
〜能登復興記念念珠〜

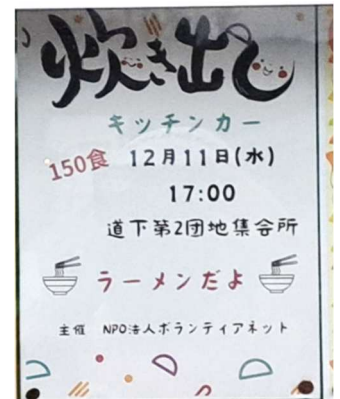
この集会所内で食べる人は少なく、ほとんどの方が、自宅や仮設住宅の部屋へ持ち帰る。夜遅くまで働いている家族のために、調理しないラーメンを持ち帰る人も多い。

しかし同時に、食事はしないが、お茶を飲みながらおしゃべりをする人も大勢見られた。



東北での支援でも感じたが、この「語り合う空間」がとても重要なのだ。

みんなで食事を共にして語り合う。そして普段から腹の中にしまい込んでいたグチや不満も、形にして吐き出すことができる。「言葉という形」にすることで、モヤモヤした気分が消え、安心できるのだろう。



そのため、仮設住宅在住の方だけでなく、周辺の方々も大々的に参加できる形で支援活動は続けられてきた。しかしそこに「炊き出し名称問題」というものがあると聞いたことがある。

「炊き出し」と聞くと、食事が手に入らない人が、やむなく出てきて食事にありつく、というイメージがあるため、食料が不足してない人はどうにも参加するのに敷居が高くなってしまう、という問題である。

しかし、そうやってひきこもってしまうと、心も体も活動が止まってしまう。

硬直した心身は、悪い方へ悪い方へと考えてしまいがちだ。

一言の挨拶、一杯の茶、一服のタバコ――

それが、心を和ませ、不安を拭い去り、安心と希望を生み出す活力となる。



支援活動で、現地の方々が一緒に準備したり、一緒に配膳していくのも、共に活動していくという姿勢が、新しい活力の源になるからだろう。

公共交通機関と

買い物事情

翌日に向かったのは、輪島市門前町「旧本郷小学校仮設住宅」のである。この小学校は、二〇〇六年に閉校し、現在はその校庭を利用して仮設住宅となっている。



近隣にバス停があったが、毎日四本のバスが通るようだ。また臨時のお出かけバスがあり、これは週に三回、昼に一本回ってくる。



これでは自家用車を持たない人は、生活用品ひとつ買いに行けないと思ったが、個人商店やAコープ、イオンなどが移動販売車を派遣しており、生鮮食品や日常雑貨を販売、必要なものは、あらかた手に入る環境になっていた。



本郷の現状



この地域には、まだ大規模な公共工事が入っておらず、道路や橋は半壊した部分が見られ、倒壊した家々も各地に見られる。

だが倒壊家屋の半分以上には安全確認の張り紙がなく、それらは震災以前から倒壊していたことが分かる。閉校した小学校があることから、ここがいわゆる限界集落であることが判断できる。



近隣に公民館はあったが、震災ゴミを分別集積する場所として使われていた。



「本郷」の地を見て歩き、
わかったことがある。



この地は、確かに過疎地域であり、能登地震によって深刻な被害を受けた。

しかし水田を見ると、今年も作付けして収穫したあとがあり、各家には農業機械も整備された状況でしまわれている。

道路も、路肩が陥没しており、気をつけなければ危ないが、逆に言えば気をつけさえすれば、トラックでも十分

通行可能な状態だ。

倒壊したり、被害のある家々もあるが、ほとんど被害のない家も多数あり、総勢五十軒以上の家族が、自宅・仮設住宅で生活しているのだ。



問題は、ここで生活し、息づいている人々のことを知らない人が、十把一絡げに「完全なる被災地」と決めつけ、復興をあきらめてしまうことではないだろうか。



「復興」というのは、自分の思い描いた理想郷を作ることではない、と思う。

その場で、ギリギリの状況でできることを、最低限の所から押し上げていく。

そしてその場に居る人々が、再び満足できる環境を整えていく。

たとえそれが、半壊した家で生活する環境であっても、だ。

明るい夜道

輪島市から帰る際、のと里山稼海道ではなくて、海沿いの国道249号線を使った方が良いと助言された。

6月に通った際は、真っ暗のでこぼこ道だったが、現在は工事用照明が煌々と輝き、復旧工事がどんどん進められていた。



明るい道は、遠くまで見渡せる。暗い夜道でも、見渡せれば安心して進むことが出来る。

この活動が、少しでも奥能登を照らす明かりになってくれればと願ってやまない。

(12月取材)

正会員・賛助会員・寄付者（敬称略・順不同）

（期間：令和6年4月1日～令和7年3月31日）

青木 光夫、秋津 秀樹、葦原 由美子、安養寺 櫻 歩、池田 千重子、伊藤 洋之助、
今泉 温資、因宗寺 柏女 有教、雲国寺、圓光寺、大塚 昭一、大塚 展彦、奥田 トミコ、
柿沼 正男、柏崎 静恵、敬信寺 岩城 芳文、桑原 正信、溪雲寺 橋本 智岳、顯正寺、
光円寺 菊池 弘昭、光圓寺 延岡 潤照、講上 国喜、弘徳寺、高德寺、光了寺、
古賀 洋子、小島 森一、弧野 やよい、近藤 タツマロ、サイエン寺 ホンダ、
災害支援北陸支援ネット、西光寺 橋本 唯彰、佐々木 誠正、澤田 恵子、宍戸 将、
島村 宣澄、シュウオン寺、正覚寺 山吹 照久、浄教寺 鈴木 量応、浄泉寺、浄善寺、
常福寺 八田 裕生、真敬寺 宮地 修、真宗教団、鈴木 友好、スタジオ ポップヘアー、
砂田橋学区、西岸寺 友松 雅英、正行寺、聖徳寺、正蓮寺 蓮原 耕児、善久寺、
専行寺 平松 正信、センショウ寺、専明寺 箕浦 暁雄、宗泉寺 旦保 立子、
存明寺 酒井 義一、託法寺、多福寺 蓮尾 智夏子、玉寄 富仁枝、智願寺、
長願寺 海 法龍、聴法寺、塚寄 洋子、東京教区、東弘寺、等覺寺 小田 昭彦、
中村 由美子、梅寿 光殊、橋本 コノミ、秦 秀人、ハタ ヤスアキ、服部 吉高、坂東 性悦、
東出 睦治、福法寺 石川 真樹、藤津 裕子、藤場 芳子、法善寺、北海道ジャガネット、
前田 よしろう、増田 せつ子、松野 祐、松林 えりか、松本 きみ子、明覚寺 小野 秀之、
明超寺、妙徳寺、明正寺 三池 眞弓、モンジョウ寺、梁河 綾子、横田 洋、吉田 幸代、
吉弘 祐子、来応寺 堀 秀隆、龍山 了裕、了覚寺 加藤 慈子、蓮慶寺、
蓮光寺 本多 雅人

皆様の温かいご支援に心より感謝申し上げます。

尚、今後も支援活動を継続していきますので、

引き続きお力添えをよろしくお願い申し上げます。

クラウドファンディングによる キッチンカー新規作成計画 ～御報告～

2024年9月～11月にかけて、クラウドファンディングを利用した「キッチンカー新規作成計画」が実施されました。



10年にわたり活躍してくれたキッチンカーですが、車体は2006年の製造であり、だいぶ老朽化が進んでいます。外装を奇麗にするために、2年前にピンクからブルーへ全塗装しました。



しかし内装・電気系統・駆動傾倒の劣化は如何ともしがたく、活動不能となるのは時間の問題でした。

そこでクラウドファンディングを利用し、「キッチンカーの新規作成」を計画することとなったのです



そしてその結果、136名の支援者より、総額6,226,000円もの支援をいただきました。

これにより、新規車体を購入するめどが立ちました。

支援者数…136 名

支援金

…6,226,000 円

クラウド

ファンディング



目標達成！

(一次目標: 500 万円)

現在、車体の組み立ては順調に進んでおり、来年には外装が完成する見込みです。

その後、調理器具などの内装取り付けに入るわけですが、まだ若干の資金不足の状況です。

改めて皆様からのご支援をお願いするかもしれません。その際は、またご連絡させていただきます。



まずはクラウドファンディングの目標達成を喜び、ご支援してくださった皆様に感謝申し上げます。

ありがとうございました。

今後の活動について

現在、日本各地で異常気象・自然災害が続いており、その被害に苦しむ人々がたくさんいらっしゃいます。

無論、対策を講じ、支援する組織・団体も多数いらっしゃいます。

今後私たちは、その組織・団体と協力して、共同で活動する事を基本方針として、活動計画を立てております。

現在のキッチンカーの稼働状況や、新キッチンカーの進捗によって、活動できる内容も変化してまいります。できる限りの状況で務めていく所存です。

皆様のご支援のほど、よろしくお願いいたします。

ご協力をお願い

「NPO 法人 ボランティアネット」は、現在も支援活動を続けており、また活動を支えてくださる、「正会員」「賛助会員」を募集しております。

また、ご寄付も随時受け付けております。

「ゆうちょ銀行」での寄付を希望される方は、ご連絡ください。振込用紙を送付いたします。

「銀行振り込み」の場合は、左記の口座への振り込みをお願いいたします。

常陽銀行 総和支店

普通 1438993

口座名：:

NPO 法人

ボランティアネット

編集後記

支援活動に行くたび、あらゆることを東日本大震災の時と比較して考えてしまう。

「もっと公的な支援は入らないのか」

「支援活動をする団体はどうか」

「あの時に比べて、ここはこうすべきなのに…」

しかし、ここは石川県の奥能登であり、2025年現在の出来事なのだ。

地に足を付け、現実を見据えて、今できること、今なすべきことを、静かに務めていく。それしかないのだろう。

(文責・大内崇久)